

現業評議会ニュース VOL.46

2025年度 現業セミナー 現業職員の強みを活かし 地域に応じた公共サービスの提供を

現業評議会は11月23日に「現業セミナー」を開催し、対面とウェブ合わせて312人（対面108人、ウェブ204人）が参加した。今回のセミナーは、現業職員だからこそ対応できる業務を考え、地域や住民から必要とされる現業職場を再確認し、今後の人員確保や安易な民間委託阻止などのさまざまな取り組みに繋げていくことを目的に開催した。（外部委託より人材投資の優位性を訴える風間さん）

セミナーでは、東洋経済新報社コラムニストの風間直樹さんを講師に招き、「住民が必要としている自治体政策について」と題した講演を受けた。

風間さんは、元編集長で経験したことを伝えつつ、「介護やドライバーなどの現場では公益性、公共性が高いにもかかわらず、処遇が抑制され人材不足など多くの課題を抱えている。現場に回るお金がブルシット・ジョブ（無意味な仕事）に使用されているのではないかと提起し、自治体においても地方創生の名のもと、自治体予算がコンサルに吸い上げられていると指摘した。また「自治体の総合戦略策定では約7割が外部委託され、その多くが東京に本社を置く会社であることから、地域を把握していない会社に地域実情に応じた政策が打ち出せるか疑問」とし、こうした状況から脱却した自治体を挙げ、コンサル丸投げ型から人材投資型への転換が必要と述べ、講演を終了した。

単組報告①として「東京都児童福祉関連職場の例から見る給食調理の直営維持・再直営化の提言」をテーマに東京都本部・自治労東京都庁職員労働組合の縄田大輔さん、単組報告②として「仙台市清掃分野の人員確保の成果報告」をテーマに宮城県本部・仙台市で働く労働組合連合会の早坂正憲さんからそれぞれ取り組み報告を受けた。



（直営の維持にむけた単組の取り組み報告をする縄田さん（左下）と早坂さん（右下））



岸さん！
ちょっと聞いてよ！



現場の課題を国会に反映させるために

第27回参议院議員選挙にむけ現業評議会では、「岸まきこ」の名前を広く知ってもらうために、動画を作成しました。岸議員が各職場に行き、現場実態や課題を聞き、解決にむけ国会で取り組む決意を話しています。是非、会議だけでなく、各現場で組合員に
逆に教えてよ編
見てもらえるよう、各単組での取り組みをお願いします。



清掃職員編



学校給食調理員編



学校用務員編



三多摩メーデー編

現業評議会ニュース VOL.46-1

各省庁 予算要請行動 各職種の課題を関係省庁に伝え 現場改善にむけた必要な予算措置を要請

現業評議会は、各省庁に対し、2025年度政府予算編成に関わる第2次要請を実施した。11月13日に厚生労働省、18日にこども家庭庁、20日に国土交通省、26日に環境省に対して要請し、現場課題を訴えた。この取り組みは、現場の実態や課題を各部会で議論したうえで、各省庁に対し現場実態に応じた次年度の予算措置を求めるために実施している。

(各省庁に要請行動を実施 写真はこども家庭庁)



各省庁要請終了後、岸まきこ・鬼木まこと組織内議員に対し、要請に対する回答について説明し、現場課題の解決にむけ、国会での取り組みを要請した。

岸まきこ・鬼木まこと
組織内議員と意見交換



厚生労働省では、栄養改善指導の充実や地域包括支援センターに専門調理師の配置など、「食」に係る予算の拡充、また介護職員の離職防止の観点から、魅力のある現場の発信などを訴えるとともに、医療現場における看護補助者の処遇改善を求めた。

学校現場では学校用務員における特別教育が必要な業務内容について、各現場での労働安全衛生の徹底と関係省庁と連携した周知を訴えた。

こども家庭庁では、医療ケアが必要な子どもの受け入れをはじめ、アレルギーや宗教食などの対応により、保育所調理の業務が複雑・高度化しているため、調理員の明確な配置基準を設け、必要な予算措置を求めた。さらに調理施設の老朽化に対する予算措置や施設の安全・安心な維持管理にむけ、用務員への配置と必要な予算を求めた。

国土交通省では、頻発する災害への対策をはじめ、日常の適切な道路維持管理にむけた予算措置を求めるとともに、特に道路法第42条を踏まえた必要な道路維持管理体制の維持・拡充が重要であることから、関係省庁と連携を図り、必要な予算措置を強く要請した。

環境省では、災害が頻発していることを踏まえ、災害ごみを適切に処理できるよう、被災自治体の体制整備をはじめ、派遣する自治体と被災現場との情報共有が重要であることを指摘した。また処理施設では、施設の建て替え時期が重なっているため、建て替え費用やプラスチック廃棄物の回収体制構築に係る予算措置を求めた。

【要請時の議事録は第2回全国幹事会で掲載予定】

本部事務局へのご意見、ご要望、お待ちしております

現業評議会では、現場課題の解決にむけ、各種集会や学習会を設定し取り組みを進めていきます。その際、集会や学習会で、こんなテーマの講演が聞きたい、こんな取り組みを実践している単組事例があれば情報共有してほしい、など要望がありましたら、右記のQRコードからメッセージの送信をお願いします。

集会や学習会の要望以外にも、現場課題で困っていること、本部としてこの課題にむけ取り組みを強化してほしいなど、なんでも構いません。

今後の現評運動の取り組みの強化にむけ、多くのご意見をお待ちしています。

